

平成 17 年国勢調査 従業地・通学地集計結果(その2) ～名古屋の昼間人口～

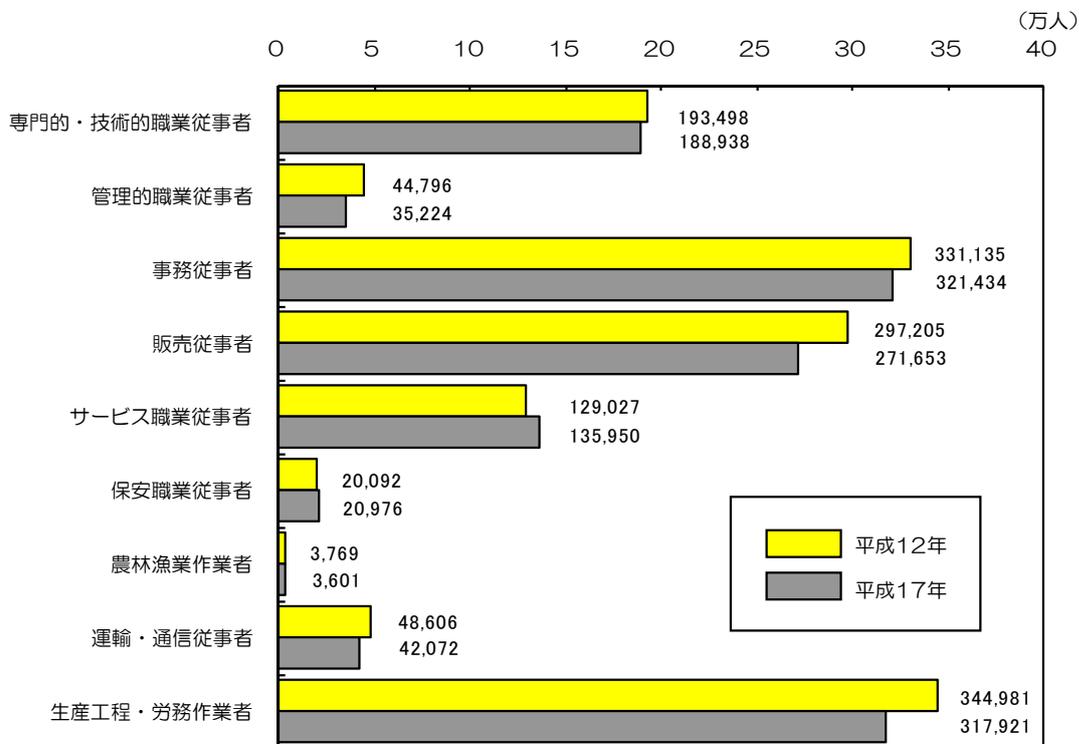
I 従業地による職業別就業者数は、「事務従事者」が最も多い

平成 17 年 10 月 1 日現在、本市を従業地とする 15 歳以上就業者の数は 1,361,680 人であり、職業（大分類）別にみると、最も多いのは「事務従事者」の 321,434 人で、15 歳以上就業者の 23.6% を占めている。12 年ではトップであった「生産工程・労務作業者」は 317,921 人（同 23.3%）で 2 番目となり、次いで「販売従事者」の 271,653 人（同 19.9%）と続いている。

前回調査の平成 12 年と比較すると、総数では 4.5% の減となり、職業（大分類）別では、「サービス職業従事者」（5.4% 増）及び「保安職業従事者」（4.4% 増）は増加したものの、他の職業は全て減少し、中でも「管理的職業従事者」は 21.4% 減、「農林漁業作業者」は 13.4% 減と 2 桁台の減少となっている。

【付表 1、図 1】

図 1 従業地による職業（大分類）別就業者数の推移



付表1 従業地による職業（大分類）別就業者数の推移

各年10月1日

職業（大分類）	就業者数			職業別割合（％）			増減数		増減率（％）	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	7～12年	12～17年	7～12年	12～17年
総数	1,469,916	1,425,173	1,361,680	100.0	100.0	100.0	-44,743	-63,493	-3.0	-4.5
専門的・技術的職業従事者	186,787	193,498	188,938	12.7	13.6	13.9	6,711	-4,560	3.6	-2.4
管理的職業従事者	71,811	44,796	35,224	4.9	3.1	2.6	-27,015	-9,572	-37.6	-21.4
事務従事者	342,897	331,135	321,434	23.3	23.2	23.6	-11,762	-9,701	-3.4	-2.9
販売従事者	298,587	297,205	271,653	20.3	20.9	19.9	-1,382	-25,552	-0.5	-8.6
サービス職業従事者	119,539	129,027	135,950	8.1	9.1	10.0	9,488	6,923	7.9	5.4
保安職業従事者	18,769	20,092	20,976	1.3	1.4	1.5	1,323	884	7.0	4.4
農林漁業作業従事者	4,953	3,769	3,601	0.3	0.3	0.3	-1,184	-168	-23.9	-4.5
運輸・通信従事者	54,029	48,606	42,072	3.7	3.4	3.1	-5,423	-6,534	-10.0	-13.4
生産工程・労務作業従事者	368,257	344,981	317,921	25.1	24.2	23.3	-23,276	-27,060	-6.3	-7.8

注）総数には分類不能の職業を含む。

Ⅱ 「事務従事者」、「販売従事者」及び「専門的・技術的職業従事者」では、
中区を従業地とする就業者が圧倒的に多い。

本市の主な職業（大分類）別の就業者数を区別にみると、従業地ベースでは「生産工程・労務作業従事者」では港区、中川区、中区の順に多くなっているが、「事務従事者」、「販売従事者」、「専門的・技術的職業従事者」及び「サービス職業従事者」では中区が圧倒的に多く、2位は全て中村区が占めている。

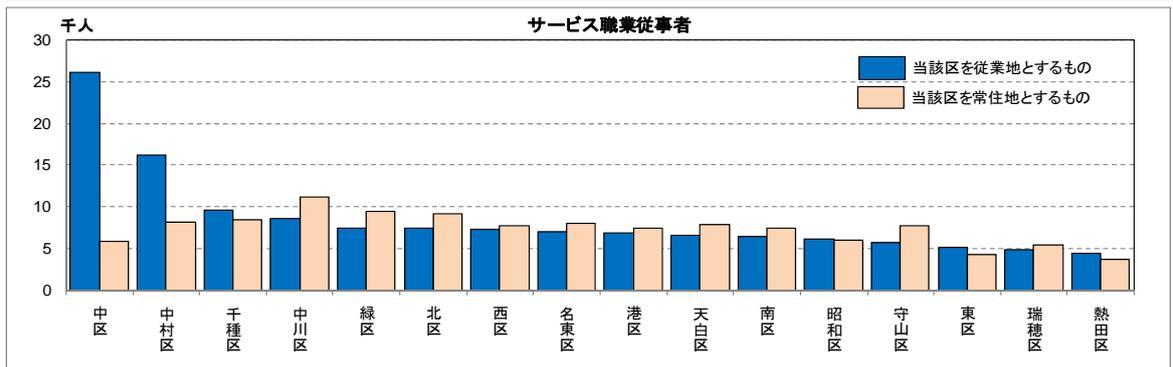
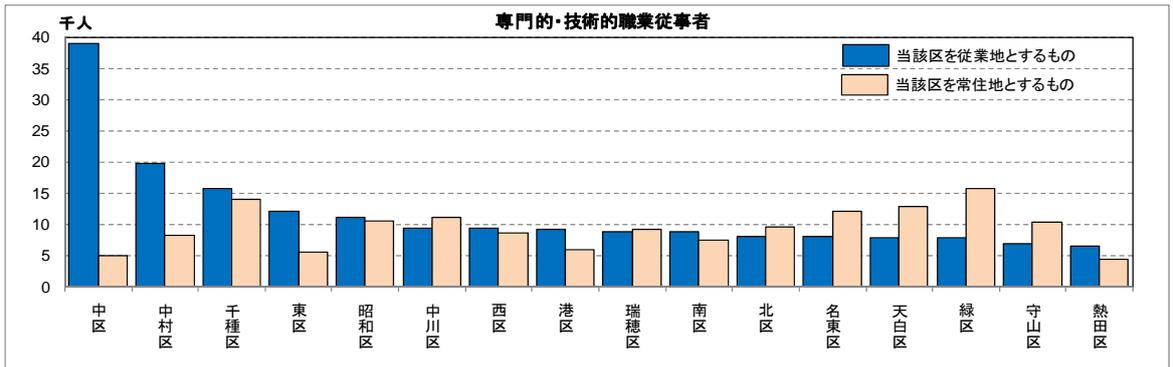
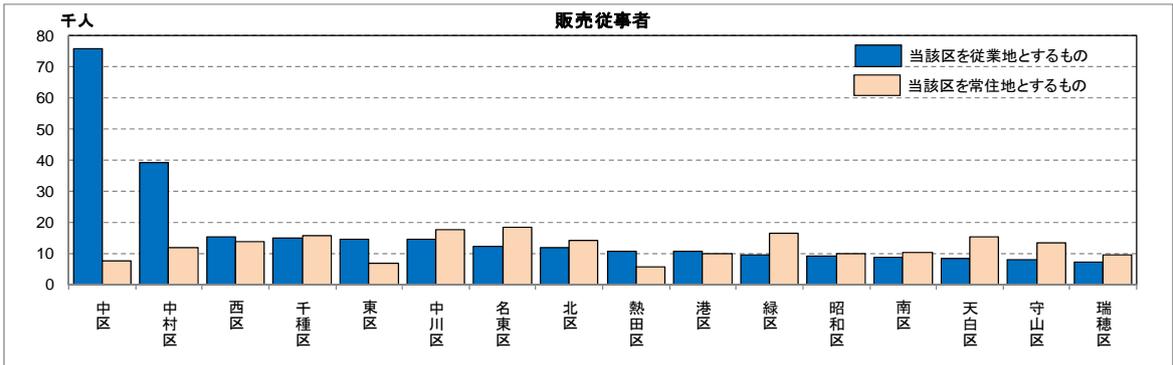
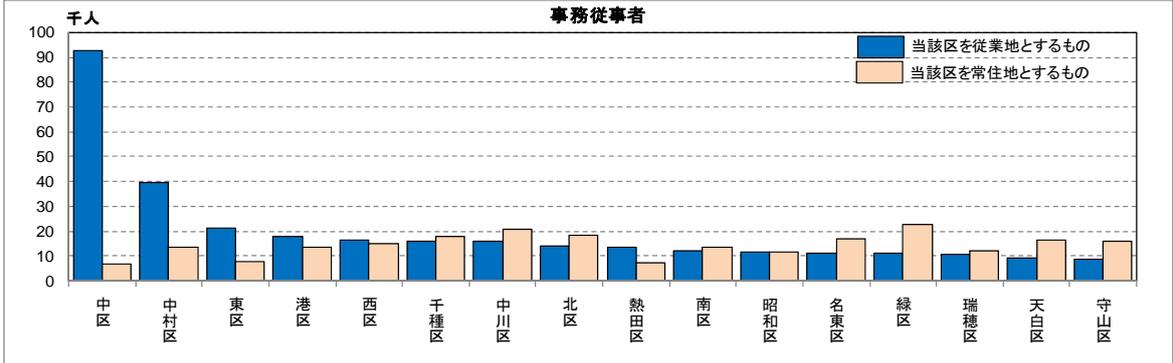
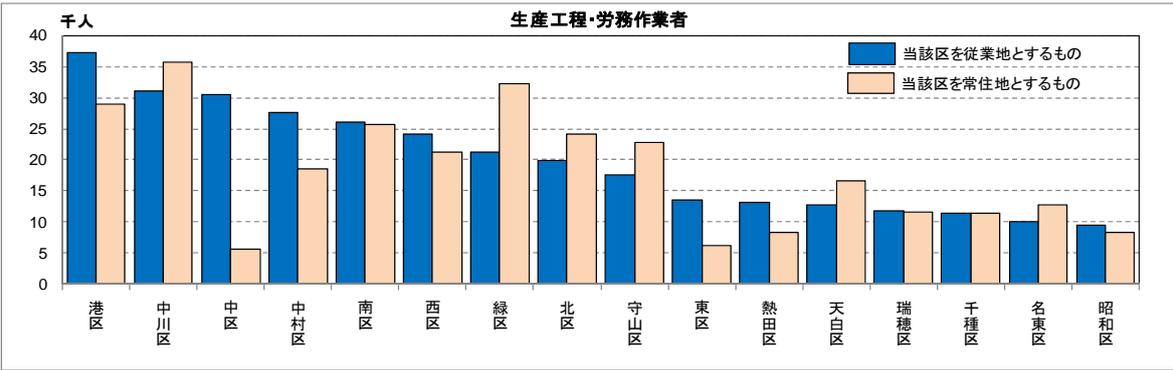
また、「生産工程・労務作業従事者」以外の職業では、3位以下の従業地ベースの就業者数は各区ともほぼ同程度となっており、常住地ベースでは主な職業別でいずれも3位以内となっている緑区も、従業地では5位～13位と他区との差はそれほどない。

【付表2、図2】

付表2 従業地・常住地による主な職業（大分類）、区別就業者数

職業大分類	区分	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区
総数	従業	73,494	71,858	68,375	80,630	154,693	285,032	51,922	47,098	53,449	90,027	96,698	69,451	53,711	62,865	52,955	49,422
	常住	74,804	34,075	83,083	73,361	66,681	34,290	51,034	52,454	32,363	107,608	75,454	71,082	78,559	105,984	74,329	75,219
生産工程・労務作業従事者	従業	11,349	13,503	19,913	24,186	27,724	30,587	9,500	11,784	13,157	31,123	37,200	26,156	17,633	21,297	10,024	12,785
	常住	11,420	6,163	24,062	21,257	18,630	5,508	8,323	11,518	8,282	35,755	28,917	25,796	22,817	32,366	12,758	16,576
事務従事者	従業	16,140	21,168	13,820	16,328	39,774	92,784	11,725	10,529	13,447	15,935	17,679	12,246	8,494	10,915	11,125	9,325
	常住	17,769	7,841	18,320	15,098	13,306	6,822	11,377	12,000	7,424	20,861	13,393	13,513	15,995	22,493	16,936	16,287
販売従事者	従業	14,948	14,497	11,792	15,392	39,350	75,898	9,287	7,174	10,774	14,431	10,601	8,933	8,071	9,677	12,410	8,418
	常住	15,869	6,905	14,169	13,752	11,996	7,714	10,105	9,641	5,817	17,524	9,891	10,307	13,297	16,624	18,550	15,258
専門的・技術的職業従事者	従業	15,789	12,156	8,104	9,451	19,793	38,940	11,112	8,882	6,467	9,454	9,202	8,792	6,981	7,849	8,103	7,863
	常住	14,024	5,590	9,511	8,692	8,242	5,046	10,636	9,133	4,340	11,223	5,954	7,447	10,330	15,692	12,102	12,775
サービス職業従事者	従業	9,654	5,148	7,425	7,223	16,158	26,046	6,175	4,841	4,443	8,642	6,902	6,473	5,678	7,485	7,015	6,642
	常住	8,395	4,343	9,167	7,719	8,198	5,809	6,003	5,450	3,636	11,112	7,406	7,427	7,716	9,438	7,972	7,859
その他(分類不能の職業を含む)	従業	5,614	5,386	7,321	8,050	11,894	20,777	4,123	3,888	5,161	10,442	15,114	6,851	6,854	5,642	4,278	4,389
	常住	7,327	3,233	7,854	6,843	6,309	3,391	4,590	4,712	2,864	11,133	9,893	6,592	8,404	9,371	6,011	6,464

図2 従業地・常住地による主な職業（大分類）、区別就業者数



Ⅲ 生産工程・労務作業者は55～59歳が最も多い

本市を従業地とする就業者数を年齢別にみると、全職業では「30～34歳」が12.6%と最も多く、次いで「55～59歳」が11.5%となっている。

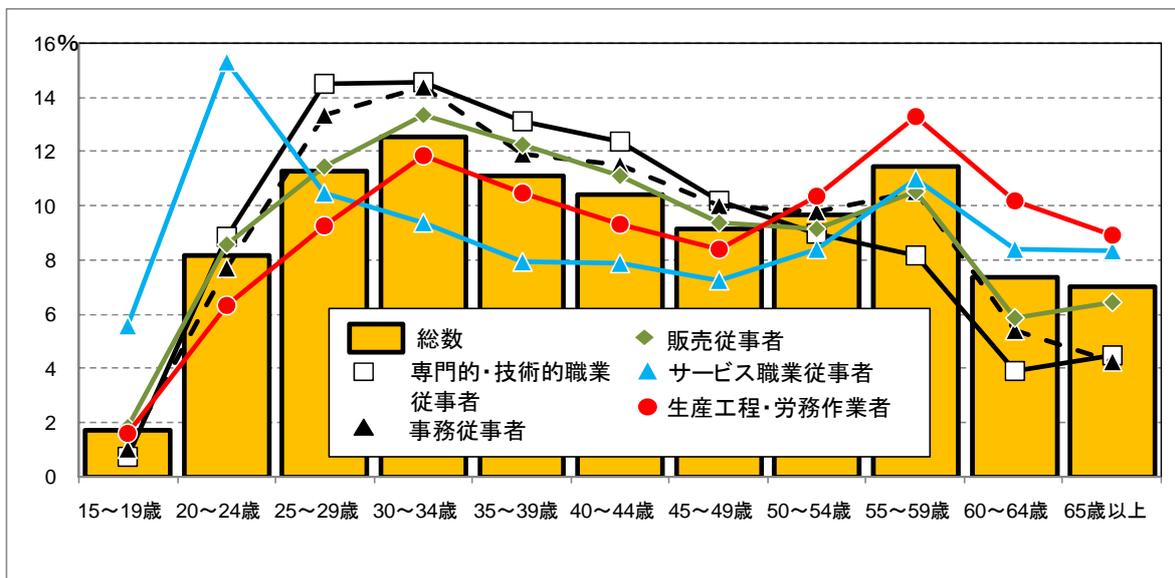
主な職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」は、64歳までの区分では「30～34歳」をピークに、年齢が高くなるほど割合が低くなっているが、その他の職業では「55～59歳」の構成割合も10%以上と割合がやや高くなっており、特に「生産工程・労務作業者」は同階層の構成割合が最も高くなっている。また、「サービス職業従事者」については「20～24歳」が最も高くなっている。

【付表3、図3】

付表3 従業地による主な職業（大分類）別、年齢階層別就業者数、構成割合

	就業者数(人)						構成割合(年齢総数=100%)						
	総数	うち、主な職業別の内訳					総数	うち、主な職業別の内訳					
		専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	生産工程・労務作業者		専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	生産工程・労務作業者	
総数	1,361,680	188,938	321,434	271,653	135,950	317,921	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
年齢階層別	15～19歳	23,469	1,357	3,306	4,930	7,571	5,071	1.7	0.7	1.0	1.8	5.6	1.6
	20～24歳	111,568	16,790	24,753	23,359	20,863	20,055	8.2	8.9	7.7	8.6	15.3	6.3
	25～29歳	153,664	27,464	43,034	31,164	14,234	29,417	11.3	14.5	13.4	11.5	10.5	9.3
	30～34歳	171,334	27,583	46,288	36,292	12,767	37,682	12.6	14.6	14.4	13.4	9.4	11.9
	35～39歳	151,072	24,840	38,312	33,393	10,811	33,355	11.1	13.1	11.9	12.3	8.0	10.5
	40～44歳	142,041	23,360	37,079	30,139	10,739	29,618	10.4	12.4	11.5	11.1	7.9	9.3
	45～49歳	125,038	19,285	32,190	25,501	9,830	26,803	9.2	10.2	10.0	9.4	7.2	8.4
	50～54歳	131,617	16,999	31,381	24,817	11,421	32,870	9.7	9.0	9.8	9.1	8.4	10.3
	55～59歳	156,188	15,397	33,848	28,650	14,939	42,302	11.5	8.1	10.5	10.5	11.0	13.3
	60～64歳	99,960	7,342	17,482	15,881	11,420	32,420	7.3	3.9	5.4	5.8	8.4	10.2
65歳以上	95,729	8,521	13,761	17,527	11,355	28,328	7.0	4.5	4.3	6.5	8.4	8.9	

図3 従業地による主な職業（大分類）別就業者の年齢階層別構成割合



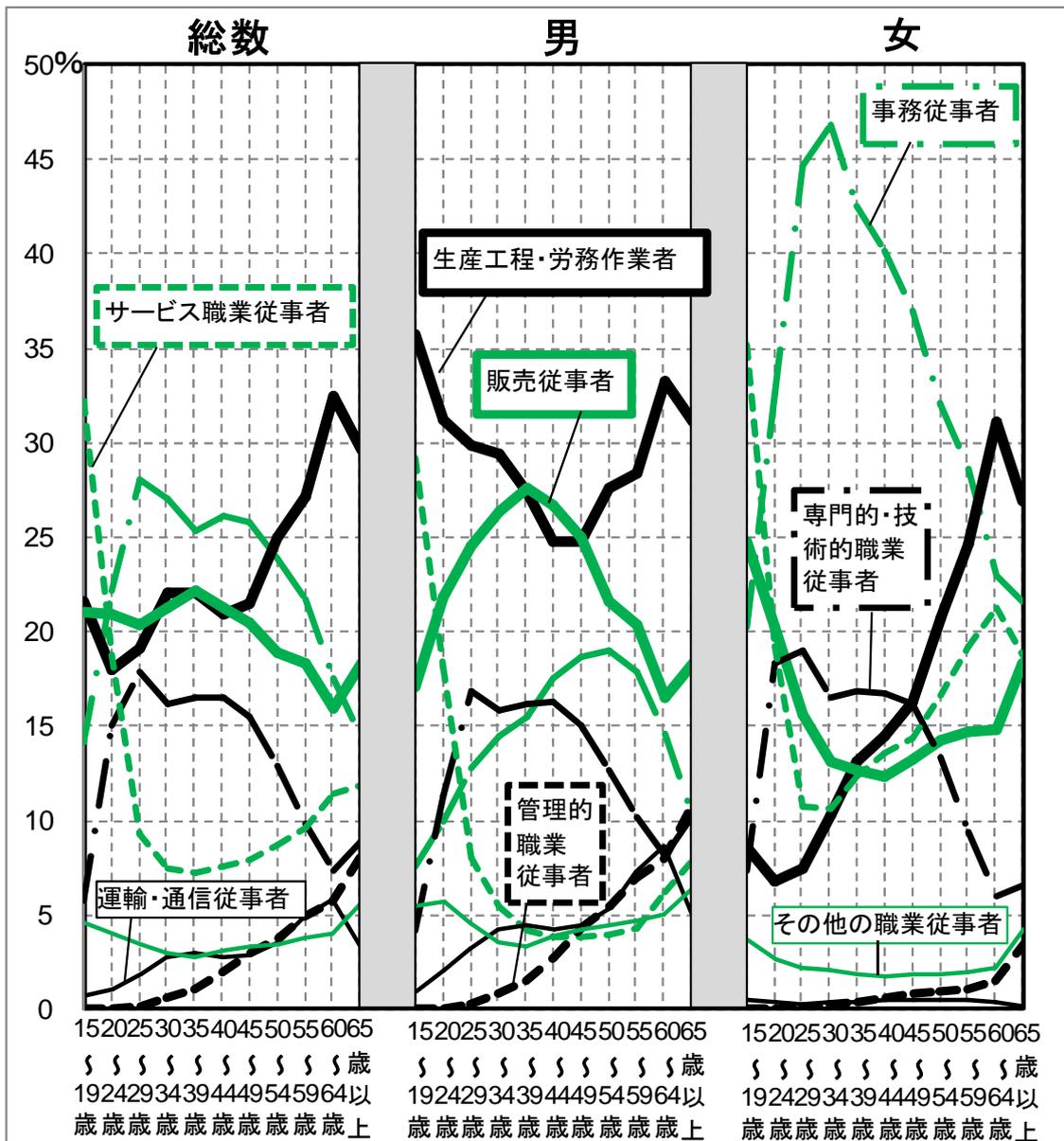
Ⅳ 30～34歳の女性就業者では半数近くが事務従事者

本市を従業地とする各年齢階層別の就業者の職業別構成割合を男女別にみると、男性では「15～34歳」までは「生産工程・労務作業者」が最も多いが、次第に「販売従事者」の割合が上昇し、「35～49歳」までは同従事者がトップとなっている。その後は65歳以上まで再び「生産工程・労務作業者」がトップとなっている。

女性では「20～59歳」まで「事務従事者」がトップを占めており、特に「30～34歳」では半数近くを占めている。一方「生産工程・労務作業者」の比率は20歳以降年齢とともに上昇し、60歳以上ではトップとなっている。

【付表4、図4】

図4 従業地による年齢5歳階級別就業者の主な職業（大分類）別構成割合



付表4 従業地による職業（大分類）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数、構成割合

区分	男女別	年齢階層区分	総数	専門的・技術的従事者	管理職従事者	事務従事者	販売従事者	サービス従事者	運輸・通信従事者	生産・業務従事者	その他の従業者
実数（人）	総数	総数	1,361,680	188,938	35,224	321,434	271,653	135,950	42,072	317,921	48,488
		15～19歳	23,469	1,357	1	3,306	4,930	7,571	165	5,071	1,068
		20～24歳	111,568	16,790	49	24,753	23,359	20,863	1,227	20,055	4,472
		25～29歳	153,664	27,464	287	43,034	31,164	14,234	2,790	29,417	5,274
		30～34歳	171,334	27,583	958	46,288	36,292	12,767	4,648	37,682	5,116
		35～39歳	151,072	24,840	1,626	38,312	33,393	10,811	4,511	33,355	4,224
		40～44歳	142,041	23,360	2,743	37,079	30,139	10,739	3,957	29,618	4,406
		45～49歳	125,038	19,285	3,678	32,190	25,501	9,830	3,616	26,803	4,135
		50～54歳	131,617	16,999	4,892	31,381	24,817	11,421	4,669	32,870	4,568
	55～59歳	156,188	15,397	7,558	33,848	28,650	14,939	7,628	42,302	5,866	
	60～64歳	99,960	7,342	5,684	17,482	15,881	11,420	5,743	32,420	3,988	
	65歳以上	95,729	8,521	7,748	13,761	17,527	11,355	3,118	28,328	5,371	
	男	総数	816,849	109,802	31,312	125,102	189,498	51,355	39,973	233,429	36,378
		15～19歳	11,303	466	-	852	1,926	3,298	109	4,033	619
		20～24歳	51,222	5,782	33	5,107	11,148	9,253	1,035	15,977	2,887
		25～29歳	80,283	13,539	241	10,227	19,716	6,404	2,569	23,920	3,667
		30～34歳	104,845	16,593	811	15,184	27,559	5,721	4,386	30,838	3,753
		35～39歳	95,711	15,494	1,405	14,775	26,412	4,024	4,280	26,127	3,194
		40～44歳	87,922	14,308	2,422	15,343	23,491	3,396	3,725	21,781	3,456
		45～49歳	76,646	11,471	3,300	14,297	19,126	2,888	3,373	18,931	3,260
		50～54歳	82,166	10,412	4,440	15,588	17,761	3,225	4,438	22,634	3,668
	55～59歳	100,939	10,253	6,951	18,039	20,532	4,348	7,373	28,686	4,757	
	60～64歳	65,128	5,252	5,165	9,500	10,717	4,026	5,617	21,611	3,240	
	65歳以上	60,684	6,232	6,544	6,190	11,110	4,772	3,068	18,891	3,877	
	女	総数	544,831	79,136	3,912	196,332	82,155	84,595	2,099	84,492	12,110
		15～19歳	12,166	891	1	2,454	3,004	4,273	56	1,038	449
		20～24歳	60,346	11,008	16	19,646	12,211	11,610	192	4,078	1,585
25～29歳		73,381	13,925	46	32,807	11,448	7,830	221	5,497	1,607	
30～34歳		66,489	10,990	147	31,104	8,733	7,046	262	6,844	1,363	
35～39歳		55,361	9,346	221	23,537	6,981	6,787	231	7,228	1,030	
40～44歳		54,119	9,052	321	21,736	6,648	7,343	232	7,837	950	
45～49歳		48,392	7,814	378	17,893	6,375	6,942	243	7,872	875	
50～54歳		49,451	6,587	452	15,793	7,056	8,196	231	10,236	900	
55～59歳	55,249	5,144	607	15,809	8,118	10,591	255	13,616	1,109		
60～64歳	34,832	2,090	519	7,982	5,164	7,394	126	10,809	748		
65歳以上	35,045	2,289	1,204	7,571	6,417	6,583	50	9,437	1,494		
構成割合（%）	総数	総数	100.0	13.9	2.6	23.6	19.9	10.0	3.1	23.3	3.6
		15～19歳	100.0	5.8	0.0	14.1	21.0	32.3	0.7	21.6	4.6
		20～24歳	100.0	15.0	0.0	22.2	20.9	18.7	1.1	18.0	4.0
		25～29歳	100.0	17.9	0.2	28.0	20.3	9.3	1.8	19.1	3.4
		30～34歳	100.0	16.1	0.6	27.0	21.2	7.5	2.7	22.0	3.0
		35～39歳	100.0	16.4	1.1	25.4	22.1	7.2	3.0	22.1	2.8
		40～44歳	100.0	16.4	1.9	26.1	21.2	7.6	2.8	20.9	3.1
		45～49歳	100.0	15.4	2.9	25.7	20.4	7.9	2.9	21.4	3.3
		50～54歳	100.0	12.9	3.7	23.8	18.9	8.7	3.5	25.0	3.5
	55～59歳	100.0	9.9	4.8	21.7	18.3	9.6	4.9	27.1	3.8	
	60～64歳	100.0	7.3	5.7	17.5	15.9	11.4	5.7	32.4	4.0	
	65歳以上	100.0	8.9	8.1	14.4	18.3	11.9	3.3	29.6	5.6	
	男	総数	100.0	13.4	3.8	15.3	23.2	6.3	4.9	28.6	4.5
		15～19歳	100.0	4.1	0.0	7.5	17.0	29.2	1.0	35.7	5.5
		20～24歳	100.0	11.3	0.1	10.0	21.8	18.1	2.0	31.2	5.6
		25～29歳	100.0	16.9	0.3	12.7	24.6	8.0	3.2	29.8	4.6
		30～34歳	100.0	15.8	0.8	14.5	26.3	5.5	4.2	29.4	3.6
		35～39歳	100.0	16.2	1.5	15.4	27.6	4.2	4.5	27.3	3.3
		40～44歳	100.0	16.3	2.8	17.5	26.7	3.9	4.2	24.8	3.9
		45～49歳	100.0	15.0	4.3	18.7	25.0	3.8	4.4	24.7	4.3
		50～54歳	100.0	12.7	5.4	19.0	21.6	3.9	5.4	27.5	4.5
	55～59歳	100.0	10.2	6.9	17.9	20.3	4.3	7.3	28.4	4.7	
	60～64歳	100.0	8.1	7.9	14.6	16.5	6.2	8.6	33.2	5.0	
	65歳以上	100.0	10.3	10.8	10.2	18.3	7.9	5.1	31.1	6.4	
	女	総数	100.0	14.5	0.7	36.0	15.1	15.5	0.4	15.5	2.2
		15～19歳	100.0	7.3	0.0	20.2	24.7	35.1	0.5	8.5	3.7
		20～24歳	100.0	18.2	0.0	32.6	20.2	19.2	0.3	6.8	2.6
25～29歳		100.0	19.0	0.1	44.7	15.6	10.7	0.3	7.5	2.2	
30～34歳		100.0	16.5	0.2	46.8	13.1	10.6	0.4	10.3	2.0	
35～39歳		100.0	16.9	0.4	42.5	12.6	12.3	0.4	13.1	1.9	
40～44歳		100.0	16.7	0.6	40.2	12.3	13.6	0.4	14.5	1.8	
45～49歳		100.0	16.1	0.8	37.0	13.2	14.3	0.5	16.3	1.8	
50～54歳		100.0	13.3	0.9	31.9	14.3	16.6	0.5	20.7	1.8	
55～59歳	100.0	9.3	1.1	28.6	14.7	19.2	0.5	24.6	2.0		
60～64歳	100.0	6.0	1.5	22.9	14.8	21.2	0.4	31.0	2.1		
65歳以上	100.0	6.5	3.4	21.6	18.3	18.8	0.1	26.9	4.3		

V すべての職業において就業者は流入超過

本市を従業地とする就業者数は、すべての職業において本市を常住地とする就業者数を上回っており、流入超過の状態となっている。

流入超過数を職業（大分類）別にみると、「事務従事者」が91,999人で最も大きく、次いで「販売従事者」が74,234人、「専門的・技術的職業従事者」が38,201人の順となっている。

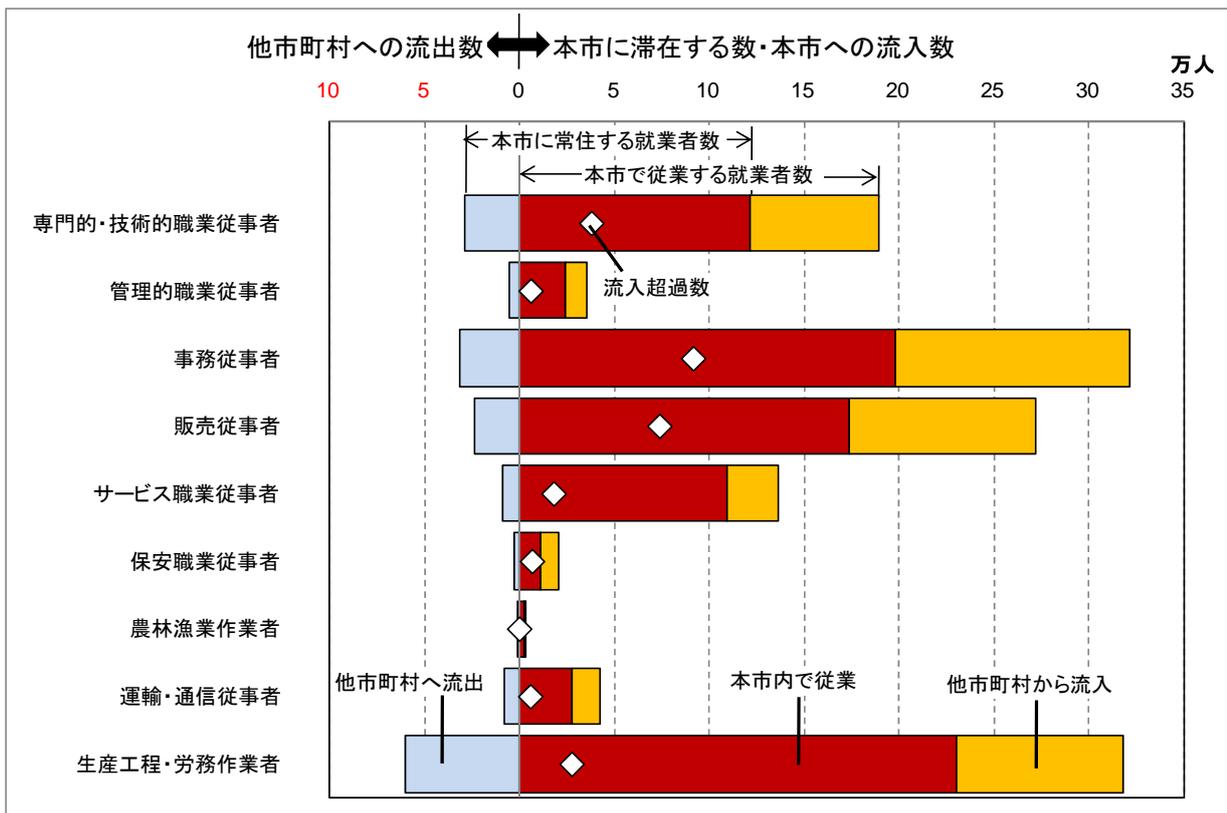
昼夜間就業者比率をみると、最も高いのは「保安職業従事者」で148.5、次いで「事務従事者」が140.1、「販売従事者」が137.6となっている。

【付表5、図5】

付表5 常住地・従業地による職業（大分類）別就業者数および流入超過数等

職業大区分	本市に常住し 本市内で従業 している A	他市区町村に 常住し本市で 従業している B	本市に常住し 他市町村で 従業している C	本市で従業 する就業者 D=A+B	本市に常住 する就業者 E=A+C	流入 超過数 F=B-C	昼夜間就 業者比率 D/E*100
総 数	920,010	441,670	170,370	1,361,680	1,090,380	271,300	124.9
専門的・技術的職業従事者	121,818	67,120	28,919	188,938	150,737	38,201	125.3
管理的職業従事者	24,000	11,224	5,068	35,224	29,068	6,156	121.2
事務従事者	198,274	123,160	31,161	321,434	229,435	91,999	140.1
販売従事者	173,781	97,872	23,638	271,653	197,419	74,234	137.6
サービス職業従事者	109,267	26,683	8,383	135,950	117,650	18,300	115.6
保安職業従事者	11,365	9,611	2,761	20,976	14,126	6,850	148.5
農林漁業作業	3,208	393	333	3,601	3,541	60	101.7
運輸・通信従事者	27,937	14,135	8,211	42,072	36,148	5,924	116.4
生産工程・労務作業	230,246	87,675	59,902	317,921	290,148	27,773	109.6
分類不能の職業	20,114	3,797	1,994	23,911	22,108	1,803	108.2

図5 常住地・従業地による職業（大分類）別就業者数及び流入超過数

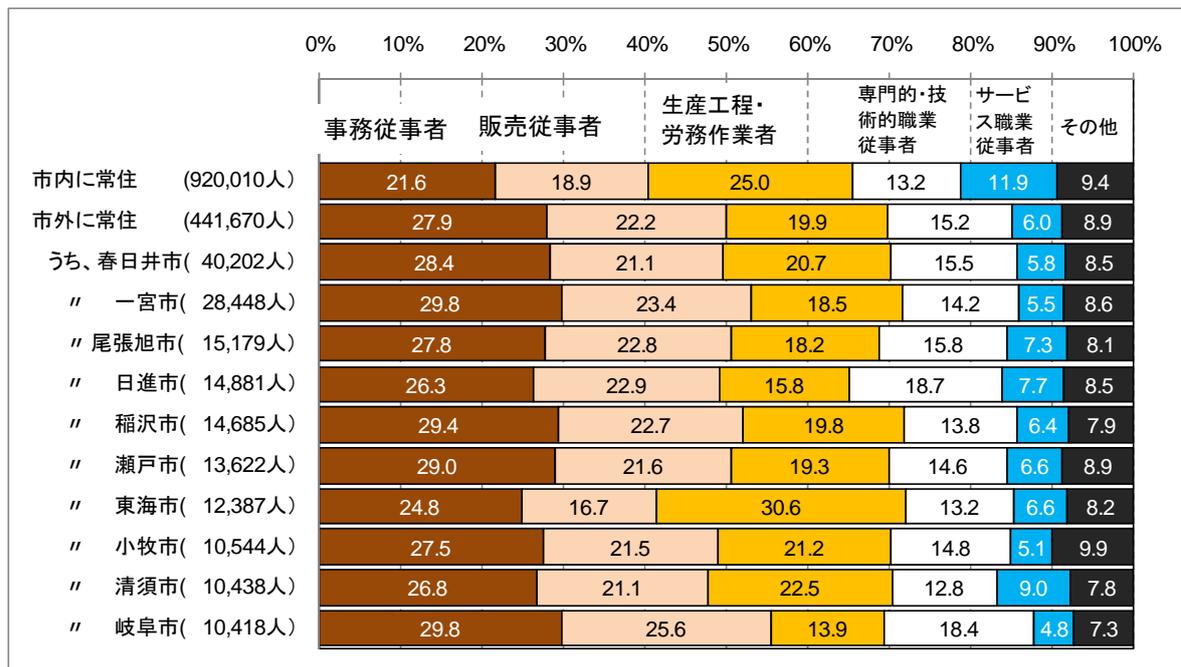


Ⅵ 流入先市町村のトップは全職業とも春日井市

他市町村から本市に流入する就業者を職業（大分類）別にみると、総数では「事務従事者」が27.9%と最も多く、市内常住者ではトップの「生産工程・労務作業者」は3番目となっている。流入先では全ての職業で春日井市がトップとなっており、次いで一宮市が「農林漁業作業者」以外では全て2位となっている。

また、流入数の上位10位市町村のほとんどが「事務従事者」の流入割合がトップとなっているが、東海市からの流入については3割以上が「生産工程・労務作業者」となっており、同職業別でも3位となっている。 【図6、付表6】

図6 本市を従業地とする就業者の常住地(流入数上位10市)別、職業(大分類)別構成割合



付表6 職業(大分類)別、流入数の上位5位市別本市に流入する就業者数

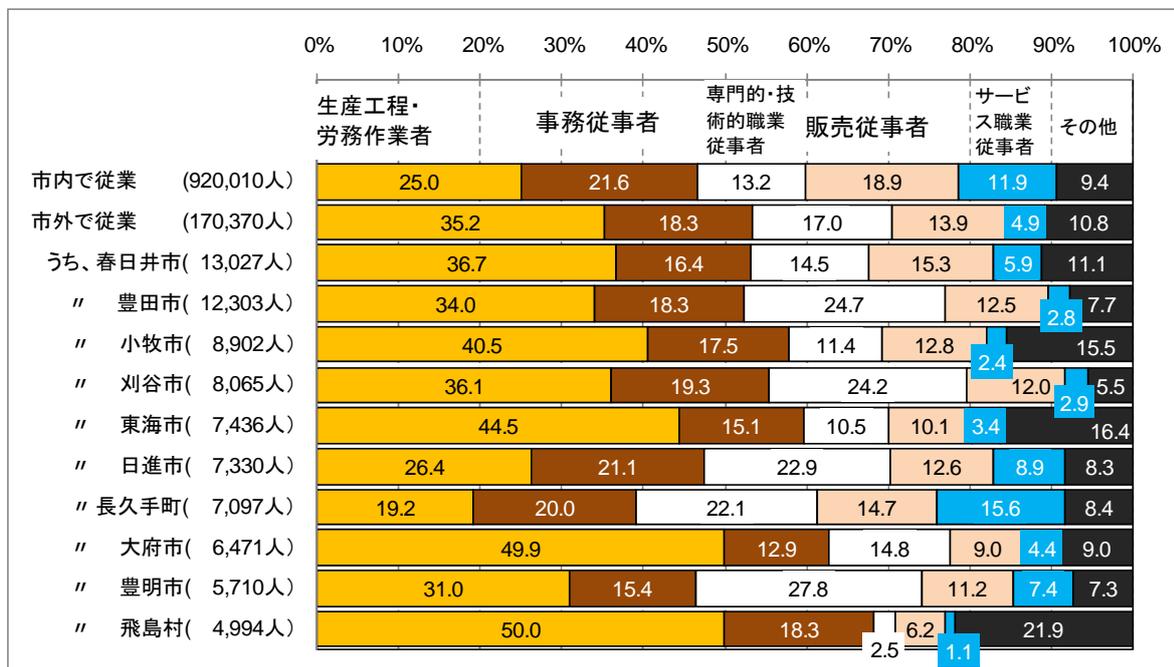
順位	職業総数 (分類不能の職業を含む)		事務従事者		販売従事者		生産工程・労務作業者		専門的・技術的職業従事者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流入総数	441,670	流入総数	123,160	流入総数	97,872	流入総数	87,675	流入総数	67,120
①	春日井市	40,202	春日井市	11,417	春日井市	8,494	春日井市	8,323	春日井市	6,242
②	一宮市	28,448	一宮市	8,469	一宮市	6,652	一宮市	5,274	一宮市	4,031
③	尾張旭市	15,179	稲沢市	4,324	尾張旭市	3,458	東海市	3,786	日進市	2,784
④	日進市	14,881	尾張旭市	4,213	日進市	3,412	稲沢市	2,903	尾張旭市	2,405
⑤	稲沢市	14,685	瀬戸市	3,954	稲沢市	3,331	尾張旭市	2,764	稲沢市	2,020
順位	サービス職業従事者		運輸・通信従事者		管理的職業従事者		保安職業従事者		農林漁業作業者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流入総数	26,683	流入総数	14,135	流入総数	11,224	流入総数	9,611	流入総数	393
①	春日井市	2,322	春日井市	1,073	春日井市	985	春日井市	949	春日井市	28
②	一宮市	1,572	一宮市	869	一宮市	547	一宮市	716	稲沢市	21
③	日進市	1,148	東海市	615	日進市	507	岡崎市	387	一宮市、 尾張旭市	19
④	尾張旭市	1,115	稲沢市	441	尾張旭市	396	瀬戸市	370	尾張旭市	
⑤	稲沢市	940	豊明市	428	岡崎市	341	尾張旭市	299	豊田市、豊明市、 日進市	14

Ⅶ 専門的・技術的職業従事者の流出先の10%以上が豊田市

本市から他市町村に流出する就業者を職業（大分類）別にみると、総数では「生産工程・労務作業員」が全体の3分の1以上となっている。流入先別では春日井市が4つの職業でトップとなっている他、「専門的・技術的職業従事者」では豊田市が、「サービス職業従事者」では長久手町が、「運輸・通信従事者」では飛島村が、それぞれ全体の10%以上を占めトップとなっている。

また、流出数の上位10位市町村のほとんどが「生産工程・労務作業員」の流出割合がトップとなっているが、長久手町への流出者については「専門的・技術的職業従事者」が最も多くなっている。【図7、付表7】

図7 本市を常住地とする就業者の従業地（流出数上位10市町村）別、職業（大分類）別構成割合



付表7 職業（大分類）別、流出数の上位5位市町村別本市から流出する就業者数

順位	職業総数 (分類不能の職業を含む)		生産工程・労務作業員		事務従事者		専門的・技術的職業従事者		販売従事者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流出数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流出総数	170,370	流出総数	59,902	流出総数	31,161	流出総数	28,919	流出総数	23,638
①	春日井市	13,027	春日井市	4,786	豊田市	2,257	豊田市	3,037	春日井市	1,995
②	豊田市	12,303	豊田市	4,178	春日井市	2,131	刈谷市	1,954	豊田市	1,543
③	小牧市	8,902	小牧市	3,602	小牧市	1,554	春日井市	1,892	小牧市	1,136
④	刈谷市	8,065	東海市	3,307	刈谷市	1,553	日進市	1,676	長久手町	1,045
⑤	東海市	7,436	大府市	3,231	日進市	1,543	豊明市	1,587	刈谷市	966
順位	サービス職業従事者		運輸・通信従事者		管理的職業従事者		保安職業従事者		農林漁業作業員	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流出総数	8,383	流出総数	8,211	流出総数	5,068	流出総数	2,761	流出総数	333
①	長久手町	1,110	飛島村	875	春日井市	364	春日井市	321	長久手町	28
②	春日井市	774	東海市	784	小牧市	301	小牧市	255	日進市	20
③	日進市	649	小牧市	725	豊田市	295	長久手町	190	稲沢市	18
④	尾張旭市	507	春日井市	575	東海市	209	常滑市	176	春日井市	17
⑤	豊明市	420	弥富町	364	大府市	143	豊田市	166	豊田市	

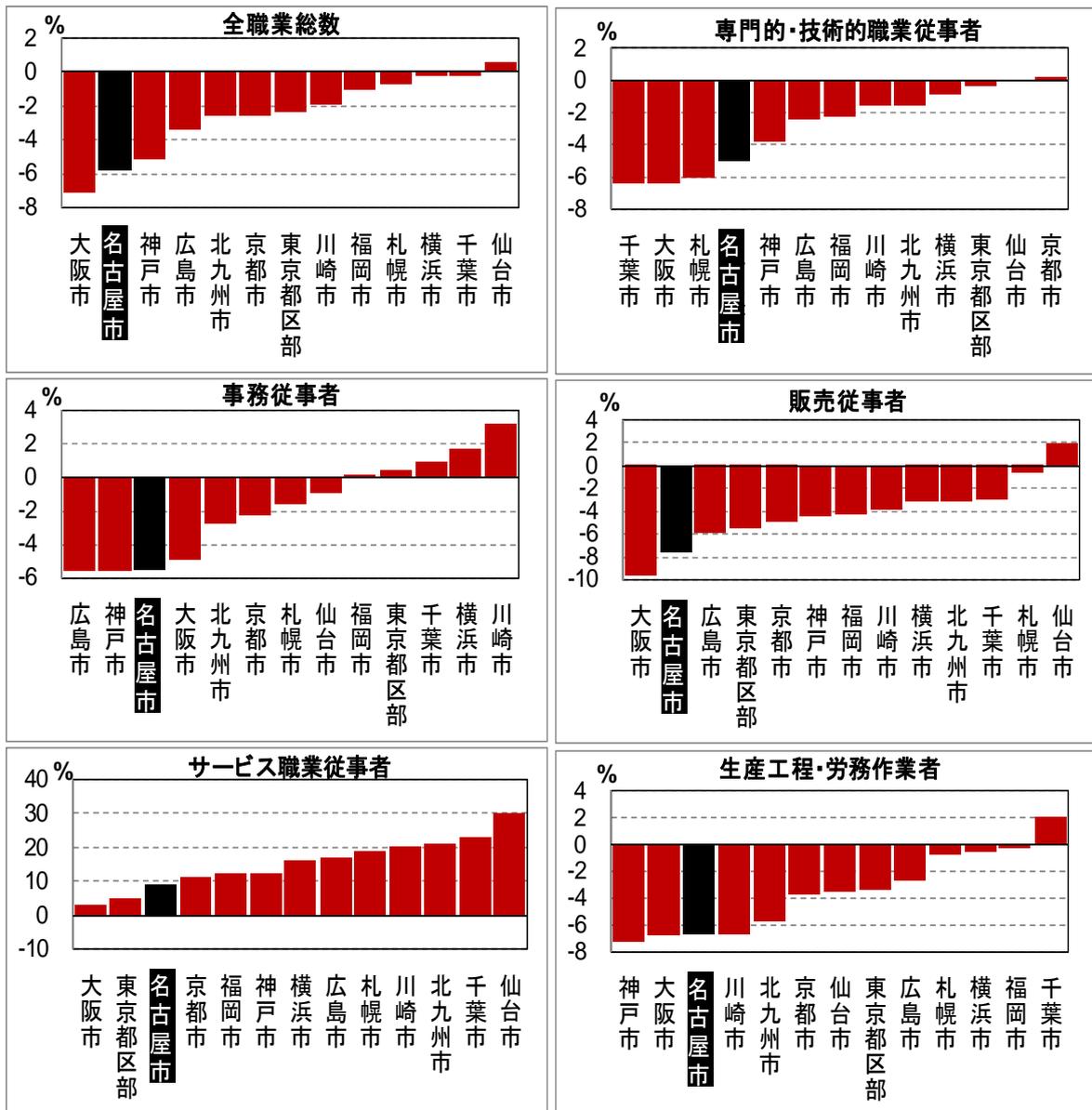
Ⅷ 「サービス職業従事者」の流入数は13大都市全てで増加

他市町村から流入する就業者数の平成12年～17年の増減率を13大都市で比較すると、仙台市以外は全てマイナスとなっており、本市は大阪市に次いで2番目に大きい減少率となっている。

就業者増減率を、主な職業別にみると、「サービス職業従事者」については、全都市でプラスに寄与している。一方、「販売従事者」については仙台市を除く全ての都市で、また「生産工程・労務作業者」については千葉市を除く全ての都市でマイナスとなっている。

【図8、付表8】

図8 13大都市の市（区）内への流入就業者数の主な職業（大分類）別増減率
(平成12～17年)



付表 8 13 大都市の主な職業（大分類）別、流入・流出就業者数及び増減率

都市名	項目	総数	専門的 技術的 職業 従事者	事務 従事者	販 売 従 事 者	サ ー ビ ス 従 事 者	生 産 工 程 ・ 労 務 者	そ の 他	
名古屋市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	468,805 441,670 -5.8	70,664 67,120 -5.0	130,386 123,160 -5.5	105,934 97,872 -7.6	24,434 26,683 9.2	93,899 87,675 -6.6	43,488 39,160 -10.0
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	153,552 170,370 11.0	26,054 28,919 11.0	26,779 31,161 16.4	22,445 23,638 5.3	6,796 8,383 23.4	54,840 59,902 9.2	16,638 18,367 10.4
札幌市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	72,110 71,621 -0.7	10,910 10,246 -6.1	16,057 15,790 -1.7	14,013 13,920 -0.7	4,484 5,319 18.6	16,644 16,527 -0.7	10,002 9,819 -1.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	49,769 55,935 12.4	8,331 8,873 6.5	7,478 8,861 18.5	7,004 7,934 13.3	3,330 3,715 11.6	15,745 18,270 16.0	7,881 8,282 5.1
仙台市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	105,583 106,132 0.5	13,413 13,407 0.0	25,638 25,380 -1.0	20,410 20,820 2.0	5,271 6,858 30.1	27,248 26,314 -3.4	13,603 13,353 -1.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	41,915 47,270 12.8	8,456 9,237 9.2	7,475 8,897 19.0	6,272 7,125 13.6	2,119 2,893 36.5	12,328 13,483 9.4	5,265 5,635 7.0
千葉市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	149,599 149,332 -0.2	25,837 24,179 -6.4	40,693 41,082 1.0	27,448 26,637 -3.0	8,022 9,869 23.0	30,382 31,011 2.1	17,217 16,554 -3.9
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	176,592 178,076 0.8	31,765 32,110 1.1	50,591 50,913 0.6	34,296 33,808 -1.4	8,776 9,824 11.9	31,471 32,422 3.0	19,693 18,999 -3.5
東京都 都区部	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	3,090,473 3,017,032 -2.4	560,853 559,017 -0.3	1,002,170 1,006,342 0.4	670,272 632,990 -5.6	137,694 144,551 5.0	402,789 389,252 -3.4	316,695 284,880 -10.0
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	340,393 334,921 -1.6	80,700 81,883 1.5	65,087 68,848 5.8	54,461 51,812 -4.9	21,655 21,775 0.6	81,920 77,227 -5.7	36,570 33,376 -8.7
横浜市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	346,203 345,411 -0.2	72,863 72,214 -0.9	81,403 82,788 1.7	60,314 58,412 -3.2	18,148 21,102 16.3	78,338 77,909 -0.5	35,137 32,986 -6.1
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	638,175 653,121 2.3	133,981 138,998 3.7	184,797 195,273 5.7	120,776 121,126 0.3	26,282 30,303 15.3	110,450 110,669 0.2	61,889 56,752 -8.3
川崎市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	212,897 208,932 -1.9	52,985 52,137 -1.6	47,366 48,868 3.2	26,507 25,477 -3.9	8,811 10,586 20.1	56,191 52,475 -6.6	21,037 19,389 -7.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	335,718 352,543 5.0	71,753 75,377 5.1	93,803 103,726 10.6	64,811 65,853 1.6	20,415 22,787 11.6	57,868 58,254 0.7	27,068 26,546 -1.9
京都市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	185,283 180,582 -2.5	31,908 31,976 0.2	46,924 45,855 -2.3	39,480 37,533 -4.9	11,188 12,469 11.4	36,401 35,034 -3.8	19,382 17,715 -8.6
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	99,024 102,220 3.2	21,490 22,300 3.8	20,348 22,055 8.4	18,444 18,677 1.3	5,025 5,964 18.7	23,997 24,048 0.2	9,720 9,176 -5.6
大阪市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	1,231,282 1,143,792 -7.1	186,544 174,676 -6.4	372,314 353,917 -4.9	307,893 278,018 -9.7	61,465 63,247 2.9	184,103 171,553 -6.8	118,963 102,381 -13.9
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	210,749 206,422 -2.1	32,383 34,104 5.3	38,065 39,474 3.7	34,086 32,570 -4.4	12,139 13,081 7.8	72,342 66,508 -8.1	21,734 20,685 -4.8
神戸市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	179,582 170,378 -5.1	28,430 27,329 -3.9	46,195 43,602 -5.6	33,808 32,303 -4.5	10,492 11,779 12.3	40,316 37,377 -7.3	20,341 17,988 -11.6
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	150,785 157,036 4.1	29,608 31,462 6.3	36,665 38,633 5.4	30,822 31,172 1.1	7,350 8,794 19.6	29,904 31,710 6.0	16,436 15,265 -7.1
広島市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	81,683 78,884 -3.4	12,714 12,398 -2.5	20,375 19,229 -5.6	15,839 14,905 -5.9	4,561 5,327 16.8	18,962 18,463 -2.6	9,232 8,562 -7.3
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	53,454 57,976 8.5	10,329 11,100 7.5	10,348 10,991 6.2	6,593 7,547 14.5	2,472 3,355 35.7	17,576 18,719 6.5	6,136 6,264 2.1
北九州市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	67,097 65,365 -2.6	10,744 10,576 -1.6	13,054 12,688 -2.8	10,875 10,538 -3.1	3,638 4,412 21.3	19,903 18,772 -5.7	8,883 8,379 -5.7
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	40,183 43,995 9.5	6,342 6,800 7.2	7,480 8,164 9.1	6,677 7,070 5.9	2,015 2,590 28.5	13,236 14,949 12.9	4,433 4,422 -0.2
福岡市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	218,780 216,534 -1.0	31,909 31,194 -2.2	61,188 61,260 0.1	50,763 48,586 -4.3	12,154 13,624 12.1	39,823 39,722 -0.3	22,943 22,148 -3.5
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A 平成17年 B 増減率(B-A)/A	60,013 66,614 11.0	10,887 11,875 9.1	10,220 11,645 13.9	11,286 12,624 11.9	3,530 4,651 31.8	16,258 17,539 7.9	7,832 8,280 5.7

Ⅸ 大半の都市について主要な職業の全てで流出就業者数が増加

他市町村から流出する就業者数の平成12年～17年の増減率を13大都市で比較すると、東京都区部及び大阪市以外は全てプラスとなっており、本市は福岡市とともに3番目に大きい増加率となっている。

就業者増減率を、主な職業別にみると、本市を始めとする大半の都市で主な5つの職業ともプラスとなっており、全職業にわたっての流出数の増加が目立っている。また、「専門的・技術的職業従事者」、「事務従事者」及び「サービス職業従事者」については全都市で流出就業者数が増加している。

【図9、付表8】

図9 13大都市の市（区）内からの流出就業者数の主な職業（大分類）別増減率
(平成12～17年)

